

公益財団法人日本食品化学研究振興財団
平成23年度助成決定について

公益財団法人日本食品化学研究振興財団（理事長 清水 孝重）は、次のとおり平成23年度助成金交付対象者を決定しましたのでお知らせいたします。

研究助成採択件数および金額

一般研究	16件	計	1,514万円
課題研究	7件	計	655万円
合計	23件		2,169万円

前期シンポジウム等開催助成件数および金額

2件	計	110万円
----	---	-------

○一般研究

1. 分子シャペロンに対する食品添加物の作用に関する研究
（京都大学大学院農学研究科 助教 村上 明）
2. 食品添加物の有効利用による食品の高度流通管理技術に関する研究
（高知大学教育研究部 教授 河野 俊夫）
3. フレーバーの安全性評価に関する国際的動向の調査研究
（国際毒性病理学会連合 前会長 小西 陽一）
4. 脂溶性抗酸化物質の包接可溶化剤の開発と可溶化した抗酸化物質によるラジカル消去能の評価
（岡山大学大学院自然研究科 准教授 末石 芳巳）
5. 色調安定性に優れたピラノアントシアニンの形成の解明
（山梨大学大学院医学工学総合研究部 助教 久本 雅嗣）
6. フラボノイド含有食品添加物の血糖値調節作用に関する研究
（神戸大学大学院農学研究科 教授 芦田 均）
7. 食品・食品添加物のハラール制度の国際比較に関する研究

(中京大学総合政策学部 教授 並河 良一)

8. パープルキャロット色素合成経路の解明
(東京農工大学工学府生命工学科 助教 佐々木 伸大)
9. 高速・高倍率濃縮分離システムの構築による食肉及び乳製品中の残留医薬品の高感度分析システムの開発
(福島大学共生システム理工学類 准教授 高貝 慶隆)
10. 天然香料基原物質の安全性評価のための基礎的調査研究
(長崎国際大学薬学部 教授 正山 征洋)
11. 酸化ストレスの関与する発がん初期変化メカニズムとそれに対する抗酸化物質の有効性に関する研究
(東京農工大学大学院農学研究院 准教授 渋谷 淳)
12. 肥満を伴うインスリン抵抗性マウスに及ぼす亜硝酸塩摂取の影響に関する研究
(城西大学薬学部 助教 大竹 一男)
13. ハイドロコロイド系増粘多糖類による食物アレルギー吸収抑制効果の検証
(近畿大学農学部 准教授 森山 達哉)
14. 胃潰瘍発症における食品添加物としてのナノマテリアルの影響とその安全性評価
(神戸学院大学薬学部 リサーチャー (博士研究員) 小野寺 章)
15. 微量汚染物質マスキング増粘多糖類添加物利用食品のバイオアベイラビリティに関する研究
(国立医薬品食品衛生研究所衛生微生物部 部長 小西 良子)
16. 食品添加物の新たなヒト安全性評価系の構築を目指したシトクロム P450による化合物の代謝活性化の解析
(神戸大学自然科学系 先端融合研究環遺伝子実験センター 学術推進研究員 後藤 達志)

○課題研究

1. アントシアニン色素の消化管吸収に関わるトランスポーター分子の同定
(名古屋市立大学大学院薬学研究科 准教授 井上 勝央)
2. 真菌に対する保存料の有効性評価
(東京農業大学農学部 客員教授 高鳥 浩介)
3. 抗菌ペプチド「ナイシン」の中性 pH 域における効果的な利用性に関する研究
(東北大学大学院農学研究科 助教 川井 泰)
4. 噴霧乾燥粉末からのフレーバー徐放挙動の湿度応答動的解析手法の開発
(香川大学農学部 教授 吉井 英文)
5. 伊予特産柑橘類果皮の香り成分の解析と添加物エンハンサーとしての可能性
(松山大学薬学部 准教授 天倉 吉章)
6. 嚥下障害者用介護食の開発に伴う物性指標の構築に関する食品物性論的研究
(共立女子大学家政学部 教授 熊谷 仁)
7. 乳化性を示す増粘多糖類の摂取が腸管からの L P S 負荷に及ぼす影響
(京都府立大学大学院生命環境科学研究科 教授 牛田 一成)

○ (前期) シンポジウム開催等助成

1. 日本食品化学学会第 17 回総会・学術大会
2. 日本食品衛生学会第 102 回学術講演会